

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについて

目 次

1 . アンケートの実施期間	1
2 . アンケート用紙の配布機関	1
3 . アンケートの回収方法 (回答方法) と回答数	1
(1) 回収方法	1
(2) 回収数 (回答数)	1
4 . アンケートの結果 (アンケート項目ごとの集計結果)	2
5 . アンケートの結果 (アンケート結果の概要)	9
6 . 参考資料 (アンケート用紙)	13

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについて

1. アンケートの実施期間

2010年6月30日(水)から8月31日(火)まで

2. アンケート用紙の配布機関

- ・地方公共団体(都道府県、指定都市)
- ・これまでに本調査に参加したことのある機関(地方公共団体、民間の機関)

3. アンケートの回収方法(回答方法)と回答数

(1) 回収方法

- ・ホームページ(HP)による方法
- ・用紙(郵送又はファックス)による方法

(2) 回収数(回答数)

回答数は全体で410であり、その内訳は地方公共団体が88(21.5%)、民間機関(公益法人、大学を含む)が322(78.5%)であった。

なお、地方公共団体のうち3回答が行政機関であり、他は分析機関(地方環境研究所等)であった。また、民間機関はすべて分析機関であった。

<アンケートの回答数>。

区分			HPによる回答	用紙による回答	回答数
地方公共 団体	行政機関	都道府県	0	3	3
		市	0	0	0
	分析機関	都道府県	33	15	48
		市	31	6	37
	計	都道府県	33	18	51
		市	31	6	37
民間機関	分析機関(公益法人、 大学を含む)		271	51	322
計			335	75	410

4. アンケートの結果（アンケート項目ごとの集計結果）

アンケートの項目ごとの集計結果を以下に示す。全体の回答機関数は410であり、いずれの項目とも、「地方公共団体」と「民間機関」に区分して回答数を示す。ただし、複数回答を可能としたもの、回答していないもの（空欄としたもの）があり、回答数の計は全体の回答数410と一致しないことがある。また、「その他」として区分される意見・希望等の内容については、各種の内容の回答があり、複数機関より回答があったもののみを示している（ただし、「回答者の担当業務の区分」及び「調査に参加する目的」については、すべての回答を示している）。

なお、質問方法の詳細は、「6. アンケート用紙」を参照する。

< 回答機関の区分 >

区分	回答数
1. 地方公共団体	88
2. 民間機関（公益法人、大学を含む）	322
3. その他	0
計	410

< 回答者の担当業務の区分 >

区分	地方公共団体	民間機関	計
1. 環境測定分析業務の担当者	62	113	175
2. 環境測定分析業務の管理者	20	183	203
3. 環境測定分析委託業務の担当者	1	5	6
4. 環境測定分析委託業務の管理者	0	8	8
5. その他	5	13	18
【「5. その他」の具体的な業務】	意見の取りまとめ 外部機関との連絡調整 環境行政担当者 企画・管理部門の担当者	品質管理者(6) 精度管理担当者(3) 信頼性確保業務の担当者 (2)	
計	88	322	410

< 調査に参加する目的 >

参加の目的	地方公共団体	民間機関	計
（信頼性の確保、精度の確認等）			295
信頼性の維持、確保	15	20	35
信頼性の向上	2	2	4
分析精度の確認、確保、向上	50	206	256
（分析方法、分析技術・機器の確認・改善等）			229
分析技術の確認	8	30	38

分析技術の改善、向上	25	36	61
分析技術の習得を行うため	27	10	37
自己の分析技術レベルの実態把握	7	27	34
自己の分析技術のスキルアップ	5	38	43
分析法の再認識のため	3	4	7
行政の分析機関としての分析技術の確認と民間分析機関の指導を行う上での最新情報を得るため	1	0	1
分析法改良の可能性調査のため	1	0	1
誤差の原因究明等を行うため	1	1	2
分析法の問題点等を把握するため	1	0	1
新規検査導入の検討に利用（分析法改良の可能性調査）	2	0	2
分析機器の客観的評価の確認、感度が十分であるかの確認	2	0	2
（外部精度管理としての必要性）	72		
外部精度管理の一貫として	4	30	34
入札等の条件に外部精度管理の実施状況の記載があるため	0	34	34
ISO9001(2008)の品質管理のため	0	2	2
精度の良い分析は分析機関としての使命であり、分析機関として社会に貢献することをモットーとしており、精度管理に係わる試験類には積極的に参加している、また、分析精度の追求は、分析機関においては必要であり、本「統一精度管理調査」はその一環として良い機会であるため	0	1	1
県からの指導による	0	1	1
（他機関との比較・情報交換）	22		
他機関との情報交換	2	9	11
他機関との比較	0	11	11
（職員の教育等）	10		
分析技術の伝承を図るため	1	0	1
社員教育の場として利用（新任者教育など）	0	7	7
定期的に参加することによる検査部門の意識の引き締め	0	2	2
（本調査の特性・効果等）	4		
環境省主催で行われていて、最上位の調査と位置付けており、調査項目が多種にわたっており非常に活用している	0	1	1
この調査の目的に協力したいと考えているため	0	1	1
技能試験よりも詳細な説明や解析が参考になる	0	1	1
底質試料のPCB 精度管理参加実績が無く、PCB 業務に関して底質調査方法での依頼対応しているため	0	1	1
（その他）	2		
参加しないことで不利益があっては困るから	0	1	1
社会的責任の保持のため	0	1	1

< 調査結果の活用 >

結果の活用	地方公共団体	民間機関	計
1. 自機関の分析精度の確認	84	320	404
2. 分析技術の習得、確認	63	218	281
3. 自機関のスキルアップ	64	203	267
4. 他の機関との比較	26	124	250
5. 外注業務における入札資格	1	75	76
6. その他	4	5	9
【「6.その他」の主な内容】 ・分析機器の性能の確認			

< 調査の効果 >

効果	地方公共団体	民間機関	計
精度の確認が出来た	24	97	121
分析技術の再確認、向上	30	76	106
分析者の意識の向上、レベルアップ	13	73	86
問題点の検討、課題の確認	11	67	78
他の機関の動向を知る、また比較が出来た	8	16	24
顧客の信頼とPRになる（入札資格取得に利用）	0	17	17
【その他の主な意見】 ・新規技術導入等に利用している ・新規の情報（説明会での情報など）を業務に反映できる			

< 希望する試料・項目 > (地方公共団体)

数字は回答数を示す

形態	媒体	項目群	項目		
気体	33 大気	29	SOx等のガス成分	2 SOx, NOx, HCl, フタル酸エステル類	
			カドミウム等の重金属類	7 Hg(3), Ni(2), Cr(2)	
			ベンゼン等のVOC	16 ベンゼン(11), アルデヒド, ジクロロメタン, トリクロロエチレン, クロロメタン, スチレン, キシレン, アクリロニトリル, 平成21年度と同じような項目	
			臭気成分	2 メチルメルカプタン, 硫化水素	
			その他(VOC以外の有害大気)	1 B(a)P	
	排ガス	4	SOx等のガス成分	3 SOx(2)	
			臭気成分	1 有機溶剤	
			その他(アスベスト)	1 アスベスト	
			その他(アスベスト)	1 アスベスト	
			その他(アスベスト)	1 アスベスト	
液体	80 水質(淡水)	39	COD等の一般項目	9 BOD(3), COD, COD(低濃度), 大腸菌群, 全窒素	
			カドミウム等の重金属類	7 Cd(3), As(2), Se, Pb, 六価クロム	
			ベンゼン等のVOC	11 塩化ビニルモノマー(4), トリクロロエチレン(2), 1,4-ジオキサン(2), ジクロロメタン, テトラクロロエチレン	
			ダイオキシン類	1 ダイオキシン類	
			シマジン等の農薬類	11 シマジン(5), フェニトロチオン(2), チウラム(2), 難分解性の農薬	
	水質(海水)	8	COD等の一般項目	4 COD(2), 全窒素	
			カドミウム等の重金属類	3 Cd, Se, U	
			シマジン等の農薬類	1 難分解性の農薬	
	排水	32	COD等の一般項目	13 BOD(7), COD(5), 全窒素(2), 全シアン	
			カドミウム等の重金属類	12 Cd(3), Pb(2), As(2), Hg, Zn, 六価クロム	
			ベンゼン等のVOC	6 トリクロロエチレン(2), テトラクロロエチレン, ベンゼン, 多成分混合試料, 1,4-ジオキサン	
			シマジン等の農薬類	1 シマジン	
			その他	1 廃絶縁油のPCB	
	固体	33 底質	6	カドミウム等の重金属類	4 As(2), Hg, Cd
				ベンゼン等のVOC	1 トリクロロエチレン
その他				1 DDT類	
土壌		12	カドミウム等の重金属類	8 As(3), Hg(2)	
			ベンゼン等のVOC	2 トリクロロエチレン, ベンゼン	
			シマジン等の農薬類	1 チウラム	
			その他(重金属類の溶出量試)	1 As	
廃棄物(焼却残渣)		5	カドミウム等の重金属類	5 Cd(3), As(2)	
			カドミウム等の重金属類	9 As(5), Pb(3), Se, Cd	
廃棄物(汚泥)		9	カドミウム等の重金属類	9 As(5), Pb(3), Se, Cd	
			カドミウム等の重金属類	9 As(5), Pb(3), Se, Cd	
その他		2	アスベスト	2 アスベスト	
			アスベスト	2 アスベスト	

< 希望する試料・項目 > (民間機関)

数字は回答数を示す

形態	媒体	項目群	項目		
気体	74 大気	30 SOx等のガス成分 カドミウム等の重金属類 ベンゼン等のVOC PCB 臭気成分 その他(室内空気)	11 SOx(3), NOx		
			2 Cd		
			4 VOC, ジクロロメタン等, 固体捕集管による		
			1 PCB		
			11 硫化水素(6), メチルメルカプタン, 低級脂肪酸, 農薬		
			1 ホルムアルデヒド		
	排ガス	43 SOx等のガス成分 ベンゼン等のVOC PCB 臭気成分 その他	33 SOx(13), NOx(13), HCl(3), HF(2), ばいじん, 酸素		
			3 VOC, ベンゼン		
			1 PCB		
			5 硫化水素等(2), 悪臭規制物質23項目		
			1 HCB		
			1 土壌ガスのベンゼン等のVOC		
			1 シス-1,2-ジクロロエチレン他		
液体	271 水質(淡水)	79 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 ベンゼン等のVOC ダイオキシン類 シマジン等の農薬類 その他	34 BOD(10), COD(6), 全窒素(2), F, 硝酸イオン, 大腸菌群数, BOD(植種あり)		
			16 As(5), Cd(5), Pb(2), Cd, Hg, Se, Zn		
			21 1,4-ジオキサン(5), トリクロロエチレン(3), ベンゼン(3), 塩化ビニルモノマー(3), ジクロロメタン(2)		
			1 ダイオキシン類		
			6 シマジン(3), チウラム(2), EPN		
			1 全シアン		
			1 2-MIB		
	水質(海水)	48 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 ダイオキシン類 シマジン等の農薬類 臭気成分	26 COD(10), 全窒素(6), 窒素形態別, TOC, 全磷, アンモニア性窒素, F(イオンクロマト法)		
			19 Pb(9), Cd(4), Zn(4), As(3), Cu, Hg, Se, Sb, Cr, Mo, F		
			1 ダイオキシン類		
			1 シマジン		
			1 2-MIB		
	排水	134 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 ベンゼン等のVOC PCB ダイオキシン類 シマジン等の農薬類 臭気成分 その他	62 BOD(26), COD(7), 全窒素(8), ノルマルヘキサ抽出物質(5), 全磷(5), Cl, F, pH, 大腸菌群(2)		
			34 Pb(9), As(5), Cd(4), Hg(2), クロム(2), 六価		
			17 1,4-ジオキサン(2), ベンゼン(2), トリクロロエチレン		
			3 PCB		
			4 ダイオキシン類(3)		
			11 シマジン(4), チウラム(4), チオベンカルブ		
			1		
			2 全シアン(2)		
			その他	2 カドミウム等の重金属類 ベンゼン等のVOC	1 Ca
					1 塩化ビニルモノマー
	その他	8 廃絶縁油のPCB	8 PCB(4), PCB(簡易測定法)		
	固体	185 底質	40 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 PCB ダイオキシン類 臭気成分	13 COD(6), 全窒素(4), 全磷(2), TOC, 硫化物(2)	
				18 Cd(4), As(3), Hg(3), Pb(2), Se, 検液作成法	
				4 PCB(2), 金属類	
				4 ダイオキシン類(2)	
1 硫化水素					
3 F(2), 油分					
60 Pb(14), Cd(11), As(9), Hg(10), Se(4), Cr(2), 六価クロム(2), B, F, Ni, Fe, Zn, Pb(溶出試験), 重金属類, 溶出量					
13 トリクロロエチレン(3), ベンゼン(3), 1,1-ジクロロエチレン, ジクロロメタン					
4 PCB(4), 溶出量					
5 ダイオキシン類(4)					
2 シマジン					
廃棄物(焼却残渣)		33 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 PCB ダイオキシン類 その他	1 全窒素		
			26 As(12), Cd(6), Pb(6), Hg(4), Se, Cr, Sb, Mo, Zn		
			2 PCB(2)		
			3 ダイオキシン類(2)		
			1 全シアン		
廃棄物(汚泥)		23 COD等の一般項目 カドミウム等の重金属類 ベンゼン等のVOC PCB シマジン等の農薬類 その他	1		
			15 As(4), Pb(4), Cd(2), Hg(2), 塩類, 妨害金属を多量に含む試料中の微量金属, 溶出試験		
			1 ベンゼン, トリクロロエチレン		
			1 PCB		
			3 チウラム(2)		
			2 全シアン		
廃棄物(スラグ等)		2 再利用するスラグ等の重金属類 廃棄物(スラグ)のハロゲン化物	1 重金属類		
			1 F		
その他		4 その他	4 食事試料		
			1 野菜類等食品の農薬類		

< 測定試料のあり方 >

試料のあり方	地方公共団体	民間機関	計
1. 現行のままでよい	76	265	341
2. 増やした方がよい試料がある	6 ・水質(5) ・その他(1)	39 ・大気(11) ・水質(13) ・底質・土壌(9) ・その他(試料量(2),採取工程を含める,自機関での精度管理が困難な項目)	45
3. 減らした方がよい試料がある	0	1 ・大気(保存期間、保存状態によりもともとの試料にバラツキが生じる)	1
4. その他の意見	2	3	5

< 分析結果の解析方法 (統計的な手法) >

解析方法	地方公共団体	民間機関	計
1. 現行のままでよい	78	275	353
2. 改良、改善等を行った方がよい	4	34	38
【「2.改良、改善等を行った方がよい」の主な内容(問題点、希望事項等)】			
・Zスコアによる評価をして欲しい、できればロバスト法でのZスコアを算出して欲しい			

< 調査結果説明会 >

説明会	地方公共団体	民間機関	計
1. 現行のままでよい	63	278	341
2. 改善等を行った方がよい	17	30	47
【「2.改善等を行った方がよい」の主な内容(問題点、希望する方法等)】			
(会場等)・開催場所を増やして欲しい、地方でも開催して欲しい 地方・県内、名古屋、札幌			
(説明内容)・分析上の問題点、トラブル例、失敗例、改善方法例等の紹介をして欲しい ・分析結果に影響する因子等について、具体的な解説をして欲しい			
(質疑応答)・事前質問の回答も印刷物として配布して欲しい ・質問に対する回答の説明に十分時間をとって欲しい			
(開催時期)・調査の開始を早めて、その年度中に調査結果説明会を開催して欲しい			

< 外れ値に対するフォロー >

外れ値のフォロー	地方公共団体	民間機関	計
1. 現行のままでよい	76	296	372
2. 改良、改善等を行った方がよい	4	9	13
【「2.改良、改善等を行った方がよい」の主な内容（問題点、希望する方法等）】			
・ 専門家による現地調査を中心に行った方がよい			

< これからの調査の必要性・あり方 >

調査の必要性・あり方	地方公共団体	民間機関	計
1. このまま調査方法でよい	55	212	267
2. 参加機関の分析結果に対して評価を加えた調査とした方がよい。	24	95	119
3. その他	6	2	8
【その他の主な意見】			
・ 精度管理調査は必要だと考える			
・ 調査結果を分析方法の改善に結びつけることが重要と考える			

< その他：本調査に関する希望する事項 >

機関の区分	地方公共団体	民間機関	計
希望する事項を記載した回答数	17	16	33
【希望する事項の主な内容】			
・ 結果の速報等を希望する			
例えば、膨大な量のデータ解析で大変とは思いますが、結果の解析評価を速報段階でも良いので、3ヶ月後に発表を望む（結果によっては、速やかに是正対策をとりフィードバックを行うため）、統計的手法にかかわらず、結果を速報で公表して欲しい。			
・ 報告書がまとまるまでに時間がかかりすぎている、報告から2ヶ月以内の報告を望む			

5. アンケートの結果（アンケート結果の概要）

アンケートの項目ごとの集計結果（4. に示す結果）に基づき、それらの結果の概要を以下に示す。全体の回答機関数は410であり、(a)～(f)の回答（％）については全回答（410）あたりの百分率を示す。(g)～(k)の回答（％）については各項の全回答数あたりの百分率を示す。

なお、詳細な結果については、「4. 項目ごとの集計結果」を参照する。

(a) 回答機関（回答者）

回答410のうち、地方公共団体21.5%、民間機関（公益法人、大学を含む）78.5%であり、80%近くが民間機関であった。

(b) 回答者の担当業務

回答者の大部分は環境測定分析業務（92.2%）であり、環境測定分析の委託業務は3.4%、その他の業務4.4%であった。なお、地方公共団体、民間機関（公益法人、大学を含む）とも環境測定分析業務が多かった。

環境測定分析業務（92.2%）では、分析の担当者42.7%、分析の管理者49.5%であった。

(c) 調査に参加する目的

回答数としては636が得られ（複数の回答あり）、目的をおおまかに分類すると「信頼性の確保、精度の確認等」72.0%、「分析方法や分析技術・機器の確認・改善等」55.9%であり、この2者が多かった。

また、「外部精度管理としての必要性」17.6%、「他機関との比較・情報交換」5.4%、「職員の教育等」2.4%、その他として「本調査の特性・効果等」に関するもの等1.0%となっていた。

(d) 調査結果の活用

回答の多くは（複数の回答のため全回答数1287）、「自機関の分析精度の確認」98.5%、「分析技術の習得、確認」68.5%、「自機関のスキルアップ」65.1%、「他の機関との比較」61.0%であった。また、「外注業務における入札資格」18.5%、その他として「分析機器の性能確認」等が2.2%であった。

(e) 調査の効果

回答としては（複数の回答のため全回答数445）、「精度の確認が出来た」29.5%、「分析技術の再確認、向上となった」25.9%、「分析者の意識の向上、レベルアップとなった」21.0%、「問題点の検討、課題の確認となった」19.0%が20～30%程度であった。

他に、「他機関の動向を知る、また比較が出来た」5.9%、「顧客の信頼とPRになった（入札資格取得に利用）」4.1%、その他として「新規技術導入等に利用している」等が3.2%であった。

(f)希望する試料・項目

希望する試料・項目に関しては、「試料の形態」、「媒体」、「項目群と項目」について、機関ごとに2回答を可能としている。

試料の形態の希望

気体の試料（大気、排ガス等）26.1%、液体の試料（環境水・地下水、排水等）85.6%、固体の試料（底質、土壌、固形の廃棄物等）53.2%、その他の試料（食品等）1.0%であった。液体、固体の試料の希望が多く、気体の希望は液体や固体の半分以下であった。

試料の形態別の希望

希望の多かった液体、固体、気体試料の順に、その概要を下記に示す。

・液体試料

「媒体」としては、環境水・地下水試料42.4%（淡水28.7%、海水13.7%）、排水試料40.5%、その他の試料（大部分は廃絶縁油）2.7%であり、環境水・地下水試料と排水試料は同程度であった。

「項目群と項目」としては、環境水・地下水試料、排水試料とも、COD等の一般項目（COD、BOD、全窒素、全燐、ノルマルヘキサン抽出物質等）、カドミウム等の重金属類（Cd、Pb、As、Hg、Zn等）が多く、ベンゼン等のVOC（1,4-ジオキサン、ベンゼン、トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、ジクロロメタン等）、シマジン等の農薬類（シマジン、チウラム等）の順であり、他は少ない。

なお、PCBについては少ないが、大部分は廃絶縁油試料に関してであった。

・固体試料

「媒体」としては、底質試料11.2%、土壌試料24.1%、廃棄物（焼却残渣8.5%、污泥7.8%）、その他の試料（大部分は廃棄物（スラグ））0.7%であった。土壌、底質、廃棄物（焼却残渣）、廃棄物（污泥）の順となっていた。

「項目群と項目」としては、いずれの媒体も、カドミウム等の重金属類（Pb、Cd、Hg、As等）が多かった。

なお、カドミウム等の重金属類以外は少ないが、媒体ごととして底質試料ではCOD等の一般項目（COD、全窒素、全燐、硫化物等）、土壌試料ではベンゼン等のVOC（ベンゼン、トリクロロエチレン等）の希望もみられた。

・気体試料

「媒体」としては、一般大気試料14.4%、排ガス試料11.5%、その他の試料（土壌ガス）0.2%であった。なお、地方公共団体では一般大気試料の希望が多く、民間機関では排ガスが多い傾向であった。

「項目群と項目」も地方公共団体と民間機関で分かれており、地方公共団体では一般大気試料のベンゼン等のVOC（ベンゼン、ジクロロメタン等）が多かった。民間機関では、SO_x等のガス成分（SO_x、NO_x等）が多く、次いで臭気成分（硫化水素等）もみられた。

全体的な項目の希望

特に希望の多い「項目群」としては、液体試料でのCOD等の一般項目、固体試料でのカドミウ

ム等の重金属類、液体試料でのカドミウム等の重金属類の3つであった。その中でも、液体試料（排水試料）でのCOD等の一般項目（BOD、全窒素、COD）、固体試料（土壌試料）でのカドミウム等の重金属類（Pb、Cd、Hg、As）が多かった。

なお、気体試料で希望が多かったのは、排ガス試料のSOx等のガス成分（SOx、NOx等）であった。

項目群	気体試料		液体試料		固体試料	
	地方公共 団体	民間機関	地方公共 団体	民間機関	地方公共 団体	民間機関
SOx等のガス成分	5	44	0	0	0	0
COD等の一般項目	0	0	26	122	0	18
カドミウム等の重金属類	7	2	22	89	26	119
ベンゼン等のVOC	16	7	17	38	3	14
P C B	0	2	1(絶縁油)	11(大部分は絶縁油)	0	11
ダイオキシン類	0	0	1	6	0	12
シマジン等の農薬類	0	0	13	17	1	5
臭気成分	3	16	0	1	0	1

(g)測定試料のあり方

試料として、「大気試料」、「水質試料」、「底質・土壌試料」、「その他の試料（廃棄物等）」と区分し調査することについて、392回答があり、回答者の大部分は「現行のままでよい」（86.9%）であった。

「増やした方がよい試料がある」（11.5%）では、試料として「水質試料」、「大気試料」、「底質・土壌試料」の順となっていた。「減らした方がよい試料がある」は1回答(0.3%)、「その他の意見」（1.3%）と少なかった。

(h)分析結果の解析方法（統計的な手法）

解析方法として、「現行のままでよい」、「改善、改良等を行った方がよい」の間に対して391回答があり、回答者の大部分は「現行のままでよい」（90.3%）であった。

「改善、改良等を行った方がよい」（9.7%）では、その大部分は「Zスコアによる評価又はロバスト法でのZスコアを算出」の希望であり、他に複数回答の意見等はなかった。

(i)調査結果説明会

調査結果説明会に関して、「現行のままでよい」、「改善等を行った方がよい」の間に対して388回答があり、回答者の大部分は「現行のままでよい」（87.9%）であった。

「改善等を行った方がよい」（12.1%）では、各種の意見があり、複数回答あったものとしては、

開催場所に関しては「場所を増やす又は地方でも開催して欲しい」、説明内容に関しては「分析上の問題点、トラブル例、失敗例、改善方法例等の紹介をして欲しい」、「分析結果に影響する因子等について具体的な解説をして欲しい」、質疑に関しては「事前質問の回答も印刷物として配布して欲しい」、「質問に対する回答の説明に十分時間をとって欲しい」、開催時期に関しては「その年度中に調査結果説明会を開催して欲しい」であったが、開催場所以外は数例となっていた。

(j)外れ値に対するフォロー

外れ値に対するフォロー（専門家による精査、アンケート調査、現地調査）に関して、「現行のままでもいい」、「改善、改良等を行った方がよい」の問に対して 385 回答があり、回答者の大部分は「現行のままでもいい」(96.6%)であった。

「改善、改良等を行った方がよい」(3.4%)では、各種の意見があり、複数回答あったものとしては「専門家による現地調査を中心に行った方がよい」であった。

(k)これからの調査の必要性・あり方

調査の必要性・あり方に関して、「このままの調査でよい」、「参加機関の分析結果に対して評価を加えた調査とした方がよい」、「その他」の問に対して 394 回答があった。約 2/3 の回答は「このままの調査でよい」(67.8%)であり、約 1/3 が「参加機関の分析結果に対して評価を加えた調査とした方がよい」(30.2%)であった。

「その他の意見」(2.0%)は少なかったが、複数回答の意見等としては「調査結果を分析方法の改善に結びつけることが重要である」があった。

(l)その他：本調査に関する希望する事項

「その他：本調査に関する希望する事項」としては 33 回答、全回答の 8% (=33/410*100)であった。それらの意見等の多くは、上記(c)～(k)と同様なものであった。

なお、「結果の速報等を希望する」とした内容については、複数みられた。

6. 参考資料(アンケート用紙)

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについて

環境測定分析統一精度管理調査は、「今後の環境測定分析統一精度管理調査のあり方について」(平成19年3月 環境測定分析検討会。以下「あり方について」という。)において、平成23年度までの長期計画を定め、また、環境測定分析検討会において、年度ごとの調査計画を定め、効率的な調査を実施しているところです。

昨今、国の行政においては、すべての事業について、自己点検が求められております。

本事業についても、これまでの調査実施の評価、今後の方向性等について点検を行い、より効果的・効率的に調査を実施するため、調査対象物質の重点化等も含め、「あり方について」を本年度中に見直しを行う予定です。

つきましては、調査参加機関等の調査に対する要望等を把握したいので、別紙のアンケートについてご回答をお願いいたします。

【募集期間】7月1日(木)から8月31日(火)まで

【記入(回答)方法】アンケートにおける選択肢(1.、2.、3.、4.、・・・)は、数字を で囲んで(又は数字を「記入欄」に記入して)ください。()内等は、適宜、具体的に記入してください。

【送付方法】アンケートの回答は、「ホームページによる方法」、「郵送による方法」及び「ファックスによる方法」により可能です。

「ホームページによる方法」は、ホームページ「<http://www.seidokanri.go.jp/>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックするとアンケートの画面(及び平成22年度本調査の参加申込の画面)が表示されますので、期限までに記入してください。「機関コード」、「パスワード」のわからない機関(これまでに本調査に参加したことのない機関等)では、ホームページによる回答はできません。また、8月10日(火)以降については、「ホームページによる方法」での回答はできませんので、下記の「郵送による方法」又は「ファックスによる方法」によりご回答願います。

「郵送による方法」及び「ファックスによる方法」は、別紙アンケート用紙に記入の上、期限までに下記へ送付ください。

送付先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人日本環境衛生センター
環境科学部 西尾高好
TEL 044-288-5132 FAX 044-288-4850

(送付先は、平成22年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込と同様です)

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケート

機関名 _____

所属 _____

氏名 _____

電話番号 _____

機関コード _____

(機関コードは、わかれば記入してください)

< 機関の区分 >

1. 地方公共団体
2. 民間分析機関 (公益法人を含む)
3. その他 ()

< アンケート回答者の担当業務の区分 >

1. 環境測定分析業務の担当者
2. 環境測定分析業務の管理者
3. 環境測定分析委託業務の担当者
4. 環境測定分析委託業務の管理者
5. その他 ()

< 調査に参加する目的 >

環境測定分析統一精度管理調査に参加している (する) 目的は何ですか。

(可能な限り具体的に記述願います)

--

< 調査結果の活用 >

環境測定分析統一精度管理調査の参加結果については、どのように活用していますか(どのように活用する予定ですか)。(複数回答可)

1. 自機関の分析精度の確認
2. 分析技術の習得、確認
3. 外注業務における入札資格
4. 自機関のスキルアップ
5. 他の機関との比較
6. その他 ()

< 調査の効果 >

この調査に参加して、どのような効果がありましたか

(可能な限り具体的に記述願います)

--

< 希望する試料・項目 >

今後、どのような測定試料・項目を希望しますか。希望する試料・項目については、1つ目及び2つ目とも、a~cは「選択肢等」からひとつを選択してその数字を記入欄に記入し、dは1項目を具体的に記入する(「選択肢等」の項目例以外でもよい)。

「記入欄」

	a. 試料の形態	b. 媒体	c. 項目群	d, 項目(1項目を記入)
希望する試料・項目 1つ目				
2つ目				
備考	その他を選択した場合には、具体的に記入願います			

「選択肢等」

a,試料の形態	b,媒体(試料の種類) (試料の形態毎に選択)	c.項目群 (媒体に関わらず選択)	d.項目(選択した項目群毎に下記の項目例を参照して、1項目を記入)
1.気体	1.大気 2.排ガス 3.その他()	1.SOx等のガス成分	SOx,NOx,HCl
		2.COD等の一般項目	COD,BOD,全窒素
		3.カドミウム等の重金属類	Cd,Hg,As
2.液体	1.水質(淡水) 2.水質(海水) 3.排水 4.その他()	4.ベンゼン等のVOC	ベンゼン,トリクロロエチレン
		5.PCB	PCB
		6.ダイオキシン類	ダイオキシン類
		7.シマジン等の農薬類	シマジン,チラム,EPN
3.固体	1.底質 2.土壌 3.廃棄物(焼却残渣) 4.廃棄物(汚泥) 5.その他()	8.臭気成分	硫化水素,メチルメルカプタン
		9.その他()	()
4.その他	1.()		

< 測定試料の在り方について >

現在、「大気試料」、「水質試料」、「底質・土壌試料」、「その他の試料(廃棄物等)」に区

分して、均等に調査を実施しているところですが、どのようにお考えですか。

1. 現行のままでよい。
2. ()を増やした方がよい。
3. ()を減らした方がよい。
4. その他の意見 ()

<分析結果の解析方法(統計的な手法について)>

分析結果の解析方法については、どのようにお考えですか。

1. 現行のままでよい。
2. 改良、改善等を行った方がよい。

2.を選択した場合、問題点、解析方法に関して希望する事項等を記入願います。

--

<調査結果説明会について>

調査結果説明会については、どのようにお考えですか。

1. 現行のままでよい。
2. 改善等を行った方がよい。

2.を選択した場合、問題点、今後希望する方法等を記入願います。

--

<外れ値に対するフォロー>

外れ値に対するフォロー(専門家による精査、アンケート調査、現地調査のあり方等)については、どのようにお考えですか。

1. 現行のままでよい。
2. 改良、改善等を行った方がよい。

2.を選択した場合、問題点、今後希望する方法等を記入願います。

--

<これからの調査の必要性、あり方>

環境測定分析統一精度管理調査の必要性及びあり方として、どのようにお考えですか。

